

国営総合農地防災事業(火山灰型)

かわゆ あとさ きた

川湯跡佐北地区



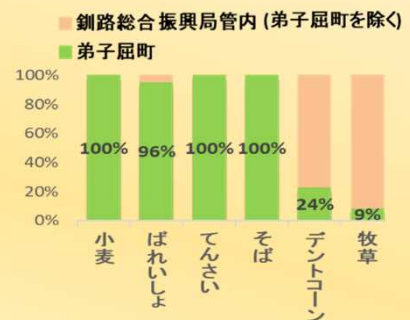
■地域の概況

本地域は、北海道釧路管内の北東部に位置する弟子屈町に拓けた大規模経営を展開する農業地帯であり、小麦、そば、ばれいしょ、てんさいに大豆を組み合わせた畑作経営のほか、飼料作物を栽培し乳用牛を飼養する酪農経営が展開されています。

また、大規模酪農が主体の根釧地域にあつて、寒暖差の大きい気候を活用し、畑作物の作付の中心となっています。

【主要作付作物管内割合】

資料: 2020世界農林業セサス、JA摩周湖等



■地区の課題

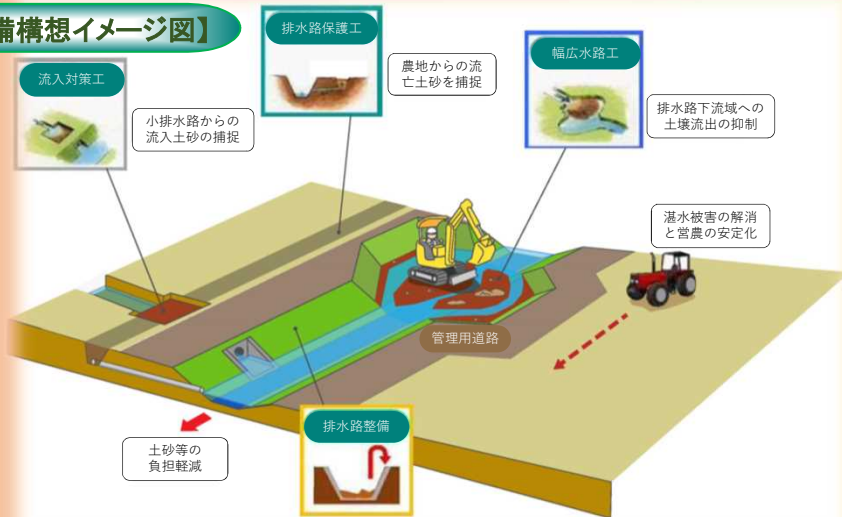
地区内では、国営川湯土地改良事業（S46～S54）等により農業用排水路が整備されましたが、侵食を受けやすい火山性土壌に起因した土壌侵食により、農業用排水路の法面が崩壊する等、排水能力が不足し、降雨時には農地の湛水被害及び過湿被害が発生しており、地域が目指す産地収益力向上に向けた取組の支障となっています。



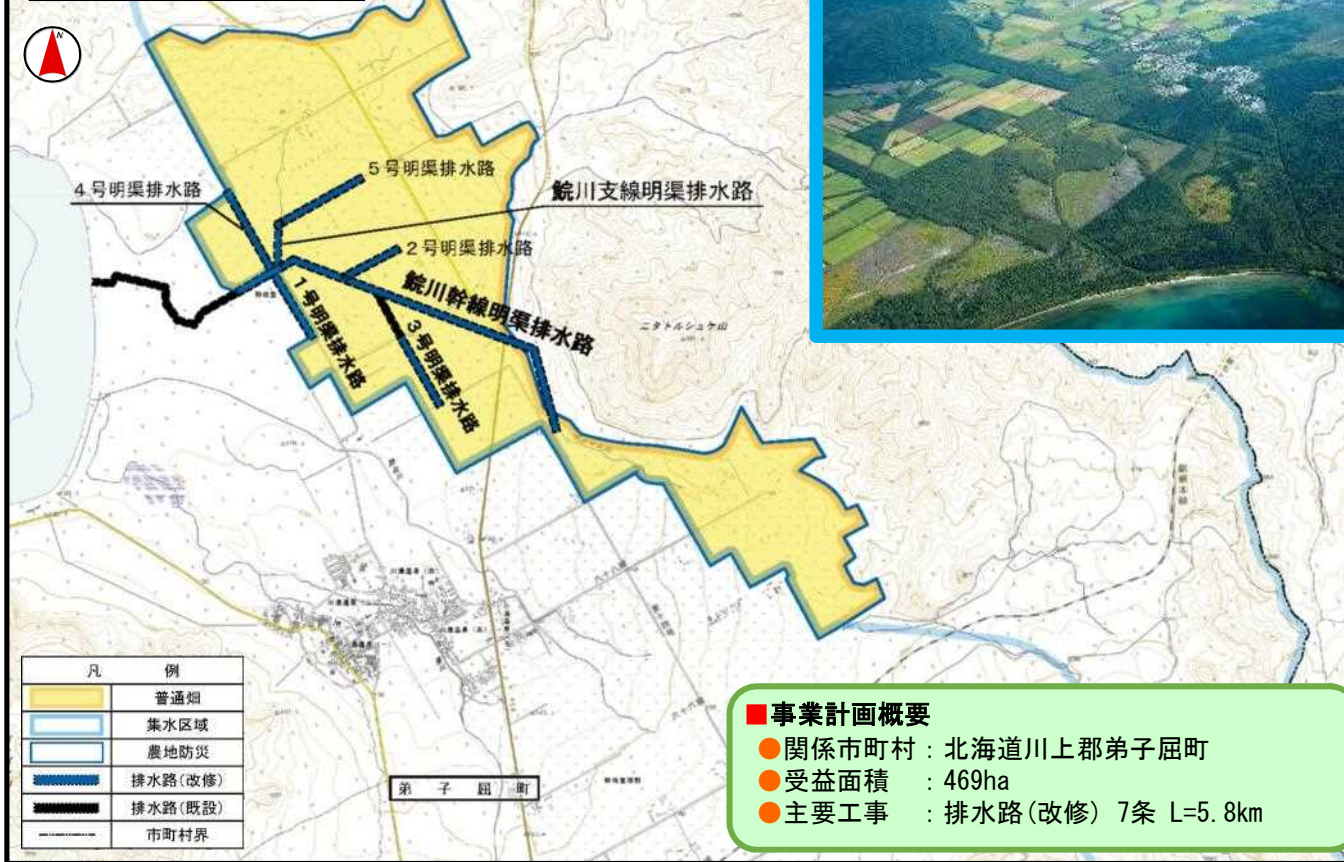
■整備構想

本事業では、農業用排水路の機能回復及び土壌侵食等の災害の未然防止を図る（排水路・幅広水路工の整備、流入対策工及び排水路保護工による土砂流出対策工の整備）ことにより、農地の湛水被害及び過湿被害を解消し、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図り、もって国土の保全に貢献します。

【整備構想イメージ図】



地区概要図



【地区全景】



■事業計画概要

- 関係市町村：北海道川上郡弟子屈町
- 受益面積：469ha
- 主要工事：排水路(改修) 7条 L=5.8km

■事業の実施

本地域では、収益性の高い農業経営の確立を目指しており、ばれいしょの用途転換を強力に進め、6次産業化、地域ブランド力向上等の産地収益力の向上に向けた取組を行っています。そのため、当該取組の支障となっている湛水被害及び過湿被害を解消することにより、収益性の高い作付を増加させ、産地収益力の向上が図られます。



【地域の特産であるばれいしょ】



【大手菓子メーカーのポテトチップス原料として出荷】



【地域団体商標「摩周そば」ブランド化】



【地元産生乳を使用したアイスクリーム販売】